

# 統合管制情報処理システムの概要

統合管制情報処理システムは、学識経験者による検討を受け、システムの設計方針を抜本的に見直し、個々のシステムを個別に構築するのではなく、システム全体において整合のとれた機能、性能を提供するため、新たに導入したシステムである。データを一元管理する飛行情報管理処理システム(FACE)を中心とし、管制業務等の機能を具備する各システムで構成している。平成27年10月のFACEを皮切りに、令和2年1月の航空交通管理処理システム(TEAM)運用開始により、全てのシステムが運用開始した。

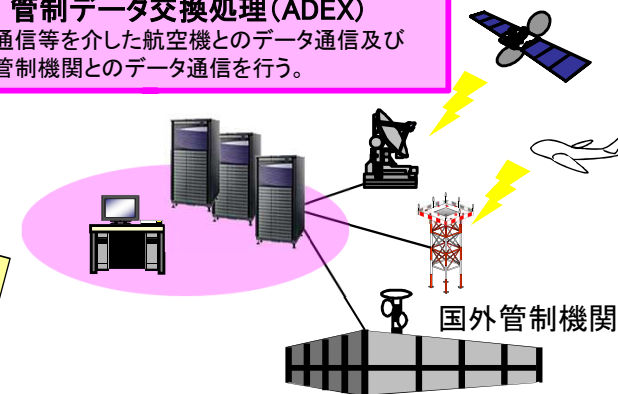
## 航空路管制処理(TEPS)

航空路を航行する航空機の管制業務を支援するための処理を行う。



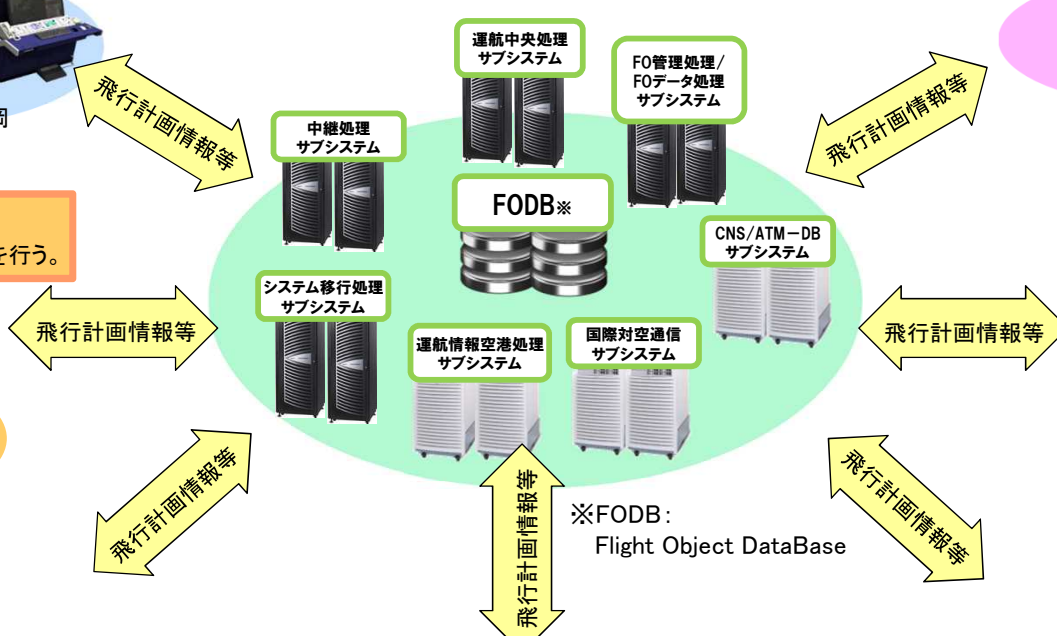
## 管制データ交換処理(ADEX)

衛星通信等を介した航空機とのデータ通信及び国外管制機関とのデータ通信を行う。



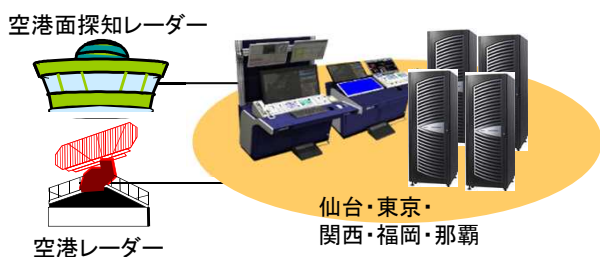
## 飛行情報管理処理(FACE)

飛行計画情報及びその他運航に関する情報の一元的な管理及び国内外の関係機関との情報授受の処理を行う。



## 空港管制処理(TAPS)

空港を離着陸する航空機の管制業務を支援するための処理を行う。



## 航空会社等



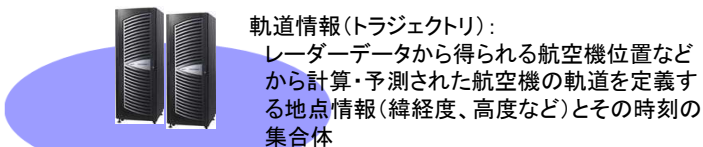
## 洋上管制処理(TOPS)

洋上を航行する航空機の管制業務を支援するための処理を行う。



## 管制支援処理(ICAP)

FACEからの飛行計画情報等をもとに航空機の軌道情報(トラジェクトリ)の生成・更新等の処理を行う。



## 航空交通管理処理(TEAM)

FACEからの飛行計画情報等をもとに航空交通量予測を行い、交通流制御実施等の処理を行う。

